



# かしわの

No 497 (4月号)  
令和 4年 4月 6日  
調布市立柏野小学校  
校長 浅野 正臣

<http://www.chofu-schools.jp/kasiwano-sho> mail:kasiwano-sho@chofu-schools.jp

## 「わくわく」をふやす

校長 浅野 正臣

入学式は、満開の桜の下で…。というのは、いつ頃までだったのでしょうか。ここ最近、桜のピンクにかわり、木々の新緑が、お祝いをしてくれるようになりました。最近の職員室の会話では「4月の初めは、社会の空気の流れが、混ざり合っている感じがする。」という話が出ました。それは、年度が変わり、通学路や通勤路で新たに行き交う人たちが作り出すものなのでしょう。電車の座席に座っている顔ぶれにも違いを感じることがあります。

今日から、令和4年度の柏野小学校がスタートしました。柏野小学校でも「空気が混ざり合う」ことが起きます。全学年が学級編制替えを行い、担任も変わったりします。始業式は、校庭で初顔合わせを行いましたので、教室に入るのは明日からとなります。教室の顔ぶれが変わり、自分の席や周りの友達も今までとは違います。まず、ここで感じるのは、「居心地の悪さ」です。この感覚を「居心地の良さ」に変えていくことが第一関門です。学校では、担任を中心に子供たちが「この教室(学校)にいたい」という安心感をもてるように教育活動に取り組めます。そして、ゴールデンウィーク頃までに、子供たちが「ここにいて大丈夫」と感じられるようにしていきます。

その後は、「この教室(学校)にいたい」と思えるように、友達同士の関わりや学習への取り組みを通して、安心感から一歩進んだ前向きな気持ちになるようにしていきます。

そして、学年が終わるまでには、「この教室(学校)でやりたい」ことを増やす学校づくりを目指します。

今年度の校内研究は、「特別活動」にしました。昨年度の主権者教育の成果を踏まえ「自分で考えたことを実行する」という経験を充実させ、『自分の考えたことをやれる→やりたい(わくわく)』という気持ちを育てていきます。係の仕事や委員会活動などはその代表的なものです。

コロナ禍での学校生活も3年目に入りました。もはや新たな生活のサイクルといっても良いかもしれません。今年度も子供たちの様子を見て、子ども達と相談したりしながら「子ども達のわくわく」を増やしていく1年間にしていきたいと考えています。

本日、第45回入学式が行われ、98名の新入生が元気に入学しました。明るく朗らかなかわいい子ども達を迎え、今年度の在籍児童数571名、19学級でのスタートとなります。また、教職員は、転出・退職が10名、転入が10名ありました。

教職員一同、今年度も充実した教育活動をすすめるために工夫を重ねていきます。保護者・地域の皆様には、今年度も本校のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。